



つばさ

第 60 号 2020 年 5 月発行
放送大学 兵庫学習センター
姫路サテライトスペース

『ようこそ放送大学へ』 — 「入学者の集い」でのご挨拶に代えて—

兵庫学習センター・姫路サテライトスペース所長 大野 隆



放送大学に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。関係者一同を代表して心からお祝い申し上げます。

皆様もすでにご承知のように、我が国における新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の広がりを踏まえ、新入生および関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、放送大学では各学習センター・サテライトスペースにおける「入学者の集い」の開催は中止といたしました。大変申し訳なく誠に残念でございますが、何卒ご理解いただき

ますよう、どうぞよろしく願いいたします。

さて、放送大学は、実践的な教養教育を提供する教養学部と大学院文化科学研究科で構成された正規の通信制大学です。人生100年時代に相応しい生涯学習の場として職業や年齢を問わず皆さんのキャリアアップやグレードアップを図ることができるように様々な教育プログラムを提供しています。大学本部を千葉・幕張に置き、全国各地に50の学習センターと7つのサテライトスペースを有し、およそ8万5千人の学生が学んでいます。

一般に大学の教養教育は liberal arts（自由の技術）の訳語とされています。ここで言う「自由」とは、経営学者の楠木健氏によれば、「もともとは奴隷状態からの精神的自由のこと」であったようで、彼によれば、『**自分以外の誰かによって決められた価値基準への従属を強制されている状態から解放されて、自由になるための技術**』であるそうです。彼が言うように高校までの教育課程には、カリキュラムに選択の余地はほとんどなく自分で学びたいものを学ぶ自由はほとんどありません。一方、大学では、カリキュラムの程度の差こそあれ自分で学びたいものを選ぶ自由があります。とりわけ放送大学では3300に及ぶ放送・面接授業科目等から選択できる大幅な自由があります。このことは教養を身につける上での放送大学の強みです。一流の講師陣による放送授業やオンライン授業、さらに地域の特性を活かした面接授業いわゆるスクーリングを受講しながら、自分のペースで世代を越えた仲間と共に学び、交流することの出来る場を大いに活用され、是非とも学ぶ楽しさを感じて下さい。

一方、放送大学では、独りで学習することが基本になりますので、継続するにはかなりの努力が必要となるでしょう。学習意欲を継続させるには、自宅での学習だけでなく、学習センターやサテライトスペースが主催する面接授業や客員教授の先生方による特別講義（ゼミ）などを受講することが効果的です。志を同じくする仲間と、机を並べて授業を受けることで学習への意欲が高まるからです。なお、面接授業は、兵庫学習センターや姫路サテライトスペースだけでなく全国各地の学習センターが提供する様々な面接授業を受講することができます。見聞を広げるためにも各地のセンターで面接授業を受けることは良い経験となるでしょう。

さらに、学習センターの課外活動サークルのいずれかに参加して趣味や特技を伸ばしたり、学習の合間に様々な目的を持った仲間である学生さん達と語り合ったりするのも楽しいことであろうと思います。また、学習センターやサテライトの視聴学習・図書室を活用してみることも大切です。充実した学生生活が送れるように先生方もスタッフ一同も皆さんを誠心誠意ご支援いたします。

最後に、このような困難な状況の時にこそ「いつでも、どこでも学べる」放送大学はその強みを発揮できると思います。入学された皆さんがそれぞれの目的を達成されること、さらにはここで得られた「学び」を次のステップへとつないでいけることを祈念して、はなはだ簡単ではありますがご挨拶に替えさせていただきます。どうぞ放送大学での学びを楽しんで下さい。

客員教授からの一言

四半世紀前の「中学生による遠隔ディベート」実験から学ぶこと



蛸名 邦禎 兵庫学習センター客員教授
神戸大学名誉教授（人間発達環境学研究科）
専門 情報、環境物理学、数理生物学

もう 25 年近く前、12 Mbps の広帯域ネットワークで千葉と神戸を結び、中学生による遠隔ディベートの実験を行った。Gbps（「ギガ」ビット毎秒）の通信が当たり前になった現在では、「メガ」の通信など「広帯域」とは言えないが、その数年前には、PC のモデム通信が 300 bps から 1.2 kbps（「キロ」）になって感激していたことを思うと、当時としては画期的な実験だった。これは、ATM 技術を用いた「マルチメディア教育ネットワーク実験」の一環として、「メディア教育開発センター」（以下「NIME」と略記。後に放送大学に吸収される）が、通信総合研究所（現・情報通信研究機構）、千葉大学、神戸大学と共同で、NTT が提供する光ファイバー専用線の一部帯域を独占的に使用して行ったものである。

実験の計画は、まだ阪神・淡路大震災直後で大学の授業も休止していた頃に始まった。当時の最先端の技術と高価な機材を投入し、4 機関の有能な研究者・技術者が苦勞してようやく実現できた環境で、誰もが広帯域ネットワークに安価で容易にアクセスできるようになるだろう未来にどんな教育が可能になるか、先行的に探っていくのが目的だった。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校になる一方で、インターネットを用いた授業などが模索されているのを見て、この四半世紀前の実験のことを思い出した。

実験の主眼は中学生同士のディベートの試合を遠隔で実施することであり、千葉大と神戸大の両地に集まった中学生チーム（各 4 名）が、第 3 地点（NIME）にいるジャッジに向けて、立論と反駁の討論形式に従って行った¹。双方は 4 分割された画面を共有し、その中に両チームとジャッジの映像が提示されるようにして対戦した。ディベートは競技として非常に明確な構造を持っており、違和感なく円滑に行われ、ネットワークを介した遠隔での実施に全く問題はなかった²。映像を圧縮して伝送しそれを先方で復元するための遅延は避けられなかったが、ディベートではそれは全く気にならなかった。ディベートの試合終了後、生徒たちは、せっかく遠方と繋がっているのに、相手方と自由にお喋りしたいと言い出した。ところが、これが始めのうちは全くうまく行かなかった。自由会話だと、双方の発言が重なったりして、コミュニケーションが機能しない状態に陥ってしまったのだ。しかし、しばらくギクシャクしたやりとりが続くうちに、彼らは、うまくいかないのは遅延のせいだと気づき始めた。発話する際にその意思を何らかの形で相手に伝え、その合図に続けて話すことにより、発言がかぶらないようにする工夫を自ら編み出し、それ以降は、楽しい会話が弾んだ。このエピソードは、円滑なコミュニケーションには一定の「プロトコル」が必要なことを示している。対面の会話では、相手の雰囲気を感じ取り、自分が発言するか相手の発言を待つか判断するための信号を、双方が無意識のうちに送り合っている。それを感じ取って会話が円滑に運ぶ。遠隔コミュニケーションの場合には、共有できる情報が限定され、遅延も発生するため、暗黙のこの信号をより明示的に交換することが必要になる。生徒たちが、初めての体験にも関わらず、試行錯誤の末にそれを発見し、乗り越える工夫を編み出したことに感銘を受けた。未来の（つまり現在の）生徒たち（そして大人たち）だったら、どう振る舞うだろうか。

¹ 中学校ディベート界の東西の優秀校である渋谷学園幕張中 vs 大阪教育大附属中の模範ディベートに続き、千葉大附属中と神戸大附属住吉中のチームが対戦した。ジャッジを松本茂氏（当時、神戸外語大学教授）NIME での技術的なオペレーションを大西仁氏（現・放送大学教授）が担当した。

² 長い事前準備期間中には、かなりの技術的な試行錯誤が必要だった。

2020年度学生研修旅行のご案内

今年度の学生研修旅行は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い
決定次第、兵庫学習センターホームページにてお知らせいたします。



文化祭について



今年度も兵庫学習センター文化祭を下記のとおり開催します。
併せて、作品展も開催しますので、ご期待下さい。
出品申込等については、後日ご案内致します。
皆さんの力作（絵画、写真、手芸、陶芸品等）の出品をお待ちしています。

開催期間	2020年11月14日(土)～15日(日) 予定
イベント関係	14日(土)～15日(日)
作品展示	14日(土)～29日(日)

修了生・卒業生からのメッセージ

私は、このたび大学院の自然環境科学プログラム生命・生態領域を修了することができました。振り返れば選科履修生のころに、修士論文を執筆することを夢見ながら、毎年秋ごろ兵庫学習センターで開催される学部卒業生による卒業研究、大学院修了生による修士論文のポスターセッションに毎年通い、勉強してきたことが真っ先に脳裏に浮かびます。本当に自分にとってモチベーション維持と修士課程の研究に大いに参考になりました。兵庫学友・同窓会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、修士全科生として入学してからは、ほとんど毎日休むことなく研究が続きました。くじけそうになることもありましたが、生命・生態領域の学友の皆様や、指導教員の熱い指導に支えられ、無事修士課程修了を迎えられましたことを心より感謝いたします。本当にありがとうございました。また、これから大学院入学を計画されている皆様、必ず道は開けます。実りある人生になりますよう心より願っています。最後に、お世話になった放送大学の益々の発展を祈念いたします。ありがとうございました。

自然環境科学プログラム 前田 啓治 さん

私は平成17年の放送大学入学で約15年在籍しています。退職後に学内の生協に勤務していた関係もあり、通信課程で単位試験以外は来られない人が多い中、兵庫学習センターは身近にあり勤務後によく行きました。視聴覚での学習、ホワイトで新聞読んだりして、私にとって兵庫学習センターは落ち着いた時間が過ごせる居場所であり、また心のオアシスでもありました。今回の卒業で「人間と文化コース」と合わせ二回目の卒業になります。最初の目的が他大学で専攻のドイツ語の再学習という個人的なものであり、最初の5年程は選科生でドイツ語及びドイツ関連の面接授業ぐらいでその他科目は選択しませんでした。途中で全科生に切り替えて興味ある科目を勉強していきました。「人間と文化コース」では特に大阪教育大での林正則先生のゲーテ関連の面接授業が何回かあり印象に残りました。兵庫学習センターは神戸大学内にあり、学習するための環境が整っており、また、周囲に若い学生さんも多くいるので気持ちも自然と若くなります。今後も放送大学にはしばらくお世話になるかと思えます。4月から少し興味ある法律関連の科目もある「社会と産業コース」に入り勉強しますのでよろしくお願いします。

生活と福祉コース 諸田 彰一 さん

4回目の卒業を終えて

私は今まで、仕事に少しでも役立つコースを選び、産業と技術、社会と経済、自然と環境の三つのコースを卒業した。しかし4回目は異質な「生活と福祉コース」を選んで入学した。

その理由は、後期高齢者になって、このコースを選ぶのは人生の中で、今が最適だと考えたからである。授業科目は沢山あったが、その中から生理学、栄養学、高齢者福祉に関する3つの分野を学ぶことにした。

しかし、残念なことに「高齢者福祉」を勉強することなく卒業することになった。その理由はサークル活動のなかで、岡田 安弘先生から10年以上にわたって、「健康科学」の講義をしていただき、それぞれのコースの中で、健康に関する興味ある科目を並行して勉強してきたからである。

最後の1年は公衆衛生、疾病の成立と回復促進、感染症と生体防御などを勉強した。なかでも「感染症」の科目は興味を持って勉強できた。

今年になって新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、連日のテレビ、新聞の報道内容がよく理解できたことは幸運であった。何事も基礎知識を持っていれば、新たな情報を客観的に、冷静に受け止められると実感できた。

大野先生からいただいた祝辞の中の、「学問の海は果てしなく学びに限界はない」という中国の言葉を忘れず、次のコースに移りたいと思っている。

生活と福祉コース 城山 義見 さん

この度は、新型コロナウイルス感染症の影響で学位記授与式が中止になりましたことを誠に残念に思います。私は2年前に看護学士取得を目指し全科履修生の3年次に編入致しました。はじめの頃はシステムWAKABAにログインするだけでも不安なほどのPC音痴でしたが、放送授業やオンライン授業を受講するうちに人並みに学習の仕方を身につけることができ、単位認定試験では不合格もいくつかいただきましたが、何とか卒業を迎えることができました。この2年間で最も印象深い出来事といえば、卒業研究を履修したことです。卒業研究受付終了間近に慌ただしくセンター所長の先生に卒業研究に向けた想いをぶつけ、先生の計らいで神戸大学大学院保健学研究科の宮脇先生をご紹介頂き、熱心なご指導を承りました。自分の想いを表現することの難しさに直面し、先生が私の想いを引き出し代弁してくれた時は、未熟な自分のために必死で向き合ってくれた先生の姿勢に感動しました。また、やっとの思いで卒業論文が完成した時の達成感、久しく感じていなかった感覚を思い出させてくれました。これらの感動は何にも代えられない貴重な体験となり、全てのことに感謝したい気持ちに包まれました。仕事と家庭と勉学の両立は簡単なものではありませんでしたが、放送大学との出会いは、私にとってとても刺激的で貴重な経験となりました。

生活と福祉コース 小澤 静香 さん

新型コロナウイルスの影響で、学位授与式などが中止となるこの年に卒業となり、違う意味で記憶に残る卒業となりました。

定年退職したら大学に入り学ぼうと以前から考えていました、今回卒業できて感激しております。関係者の皆様ありがとうございました。

私は中学校卒業と同時に訓練生として某社へ入社、会社の訓練施設で高校相当の学習と業務訓練を受け、15歳から64歳まで49年の会社生活をし、中間管理職を経て、定年直前の数年間は業界のエキスパートとして、社内研修センターの講師をしました、業務に必要な知識技能、公的資格取得の指導をしました、しかし自分自身の知識不足、無知、視野の狭さを痛感していました。

定年退職したら大学に入ると以前から考えていました、定年退職後に大学卒業しても、収入が増えるわけでもなく、出世するわけでもなし、しかし少し視野広くなり、考える力、知識を得る事が人として恥ずべき事の減少になり、新しいことに会える喜びがあります。

今回卒業して次は、「自然の環境コース」に継続入学しました。若い時学習できなかった分を取り戻すとともに、新しいことに会える喜びを求め続けていこうと思っています。

社会と産業コース 中野 辰男 さん

定年後の卒業を予定して3年前に編入学しました。42年前に入学した時は家庭の事情もあり、浪人留年は許されず、下宿せず通学できる範囲の公立の大学と選択の範囲も狭く、最短で卒業、就職する必要がありました。

そのため、大学に残って専門を深めることも、所属学部以外の興味のある科目を選択することもできませんでした。本来学ぶということは、何ら制約もなく自由に選択できてこそ有意義であると考えます。

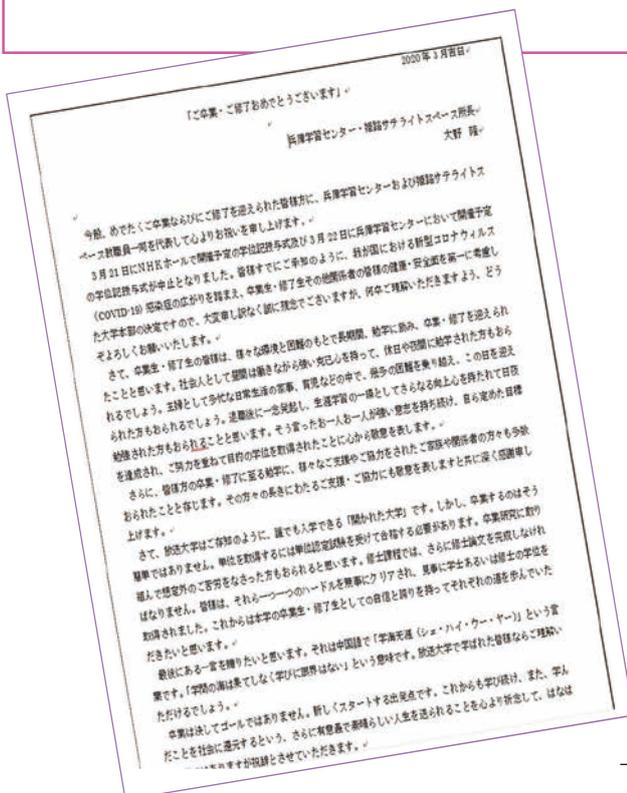
放送大学では、環境に左右されることもなく興味のある科目を学ぶことができました。40年の時を経てようやく本来の学びの場を得ることができたことを喜んでます。今後とも、シラバスに興味のある科目がある限り継続していきたいと思っています。

社会と産業コース 匿名 さん

放送大学卒業に当たって

この度の、卒業大変喜んでおります。私は高卒で地方公務員になり、入庁時、大卒の方々を見ると、立派で大きく見えました。職場では大卒者に負けないように、精一杯頑張り42年を得て退職しました。只、このままの人生では物足らなく、思っていたところ、貴大学職員だった友人から誘われて入学いたしました。私は土木技術者だったため、一般常識に欠けているところがあると思い、「社会と産業」を選択しました。勉強していくと、なんと違う世界があり、自分の無能力さを痛感しました。只卒業するまでに124単位は遠かったです。というのは、退職直後、即自治会の世話を仰せつかり、多忙のなか、特に自治会内の葬祭等の行事の際に単位認定試験にかちあたりと思うように進まなかった事もありました。そのなか、受験近くになるといつも机に座って勉強しましたが、年齢を重ねていると（現在、喜寿）、なかなか頭に入らず、このままでは、卒業できないのではと悩みましたが、家族や貴大学の職員の励ましを受け、この度卒業できることになりありがとうございました。これまで積み上げてきた知識を基に、残り少ない人生になりましたが、世の中に少しでも貢献できれば幸いと思っています。

社会と経済コース 牛尾 正喜 さん



この度、全国において新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が拡大している状況を鑑み、予定しておりました卒業証書・学位記授与式を中止することを発表したにも関わらず、卒業生に対しまして本誌への投稿をお願いしたところ、7名と多くの方から投稿頂きました。誠にありがとうございました。



サークル紹介



※サークルの内容等が聞きたい方は、直接各サークル代表者にお問い合わせください。

サークル名	活動内容
やまびこ	毎月第2日曜日に近郊日帰り例会登山。夏山では日本アルプス挑戦。 ホワイエに例会案内掲示しています。体験参加歓迎します。
でじかめくらぶ	季節に合わせて、随時例会を企画。ホワイエ掲示板に写真の展示。期末には東京周辺の旅を企画。
C言語研究会	C言語のプログラミングの演習等を行う。(兵庫 SC) エクセル、ワードの演習等を行う。(姫路 SS)
数学おもしろクラブ	毎月1回、日曜日(10:00am~12:30pm)に開講する。講師は神戸大学稲葉太一先生を招聘して「微分積分」を面白く・楽しく学習する。 E-mail: inakayama@soleil.ocn.ne.jp
歴史同好会ークリオの集いー	月1回、自由テーマで幅広く歴史を学ぶ。また、適宜近郊の史跡巡りも計画する。
生命と人間を考える研究会 (SLH研究会)	毎月1回原則として第1土曜日の午後に、医学の視点からヒトのからだ、哲学の視点からこころに付いて学ぶ。顧問は神戸大学医学部名誉教授の岡田安弘先生。 E-Mail: yoshiki_takatoh@yahoo.co.jp
混声合唱部「うたごえ」	みんなで楽しく歌っている男女混声の合唱部です。入学/卒業式では放送大学学歌を歌います。春・秋には皆さんに呼びかけてオープンレッスンを開催しています。 E-mail: haruyo331@cwk.zaq.ne.jp
中国語会話サークル	月2回、中国語会話のレッスンをを行う。 E-mail: cjd47870@ams.odn.ne.jp
英語(英会話)勉強会	月2回、英会話(外国人講師)および文法学習・CNN ニュースリスニング輪読を行っています。 E-mail: capt_hirakawa@yahoo.co.jp
ESSサークル	月1回、コミスタこうべにて、簡単な英語を使って練習する初級英会話サークルです。
ゴルフ同好会	2ヶ月ごとにゴルフコンペを開催する。
経済と金融を学ぶ会	第3土曜日の午後、テキストと関連資料により学習し、テーマに沿って意見交換する。 E-mail: medakakojiro@yahoo.co.jp
ICTサークル (PCQAサークル)	月1回、勉強会・情報交換会を開催しています。ご自由にご参加ください。 E-mail: campus.ouj.hyougo.pcqa@gmail.com サークルHP: https://sites.google.com/site/pcqacircle
サークル・ヒストリエ	月1回、西洋古典の著作の中から優れた作品を選択し、会員全体で輪読する。
「健康と病気」清談・漫談	2ヶ月に1回程度の学習会を開催する。
地質と環境を語る会	月に1回、地質、環境、トピックス、災害について語り、年2回程度地層や関連施設の見学を行う。
武田義明先生と里山を歩こう会	毎月第一金曜日に、近郊の里山に出かけて、植物の観察を行います。顧問は、神戸大学名誉教授武田義明先生。(7月、1月は原則お休み)Cメール希望致します。

やまびこ

六甲山や関西一円を足場として、毎月近郊日帰り山行を行っています。行き先は各月毎のリーダーが熟慮を重ねた素晴らしいコースをリード、毎回新たな発見があります。最高齢約90歳の方も参加、それぞれの力量で楽しんでいます。ハイキング程度の緩やかなコースや少しハードな場合など、また去年は遠征で日本アルプス槍ヶ岳に、個別企画で台湾玉山にも挑戦しました。会員にはスペイン巡礼紀行配信あり。是非一度参加してみてください。

でじかめくらぶ

”でじかめくらぶ”と言っても、所謂カメラマニアの集まりではありません。本格的な撮影技術を競うものではありませんので、腕に覚えは不要です。季節の花を探しに行ったり、古い町並みやお城・社寺などを訪ねています。3月には千葉の学園本部にあるセミナーハウスの宿泊施設を拠点にして、恒例の江戸下りの旅を企画しています。一緒に遊びに行きましょう。

C言語研究会

「C言語研究会」は、演習第一主義、毎月、兵庫学習センターの実習室で初心者向けの「C言語の基礎と応用」と中上級者向けに「ラズベリーパイ、アルディーノの応用」、「機械学習と深層学習」（小高知宏著 オーム社）、スクラッチの演習等色々なものに興味を持ってプログラム演習をしています。外部からは、「難しそう」と思われているようですが、初心者にも分かりやすく、例会の時に作成するプログラムは、エラーを取り除いて、必ず動作させ、プログラミングを楽しんでいます。C言語研究会の演習の資料は、放送大学兵庫同窓会のホームページのサークル活動内で公開しています。プログラミング等に興味のある方は例会の時に、実習室にお立ち寄りください。

数学おもしろクラブ

数学おもしろクラブは、神戸大学稲葉太一先生を招聘して「数学の考え方・正しい学び方」を身につけることを目的に沿って学習します。令和2年度のクラブ活動は、三宅敏恒「線形代数学―初歩からジョルダン標準形へ―」2008 培風館のテキスト（text）で開講します。学生諸君の”クラブ会員”を募集します。開講日には、お気軽にお立ち寄りください。

1. クラブ開講日時：毎月1回日曜日、午前10時から12～13時まで（6階）。
開講予定日：4月、5月、6月は新型コロナウイルス感染予防対策のため閉講。
7/12(日)、8/9(日)、9/13(日)予定
2. 会費：毎月1,500円。
3. 申込書：サークル紹介文書箱の”申込書”でお申し込み下さい。

歴史同好会―クリオの集い―

ギリシャ神話に登場する歴史の女神「クリオ」を愛称とし、温故知新、皆で楽しく学ぶをモットーに、自由テーマで歴史のあれこれを学びます（原則として毎月第三金曜日）。
また、適宜近郊の史跡巡りも計画しますので例会共々気軽に参加ください。

生命と人間を考える研究会(SLH研究会)

私たちは生命科学としてヒトの身体の構造と機能や疾病について医学的視点から学びます。また生きるとはどういうことかを哲学的視点から学びます。例会は毎月1回、原則として第一土曜日に兵庫学習センターで開催しています。前半は、顧問の神戸大学医学部名誉教授の岡田安弘先生に「身体と疾病」について講義をしていただき、テキストはプリントと岡田先生の著書「生命科学」を用います。

後半は澤瀉久敬著「哲学と科学」（NHKブックス）を輪読しています。この本は、哲学と科学の違いと相互の関係を明確で分かりやすく解説した書物で、プリントを用意しています。また毎年8月にはしあわせの村で「夏期研修発表会」を開催し、関連したテーマの研修結果を発表して、討論する機会としています。前半又は後半だけでも参加できます。会費は6カ月2,000円です。

混声合唱部「うたごえ」

日本のうた、世界のうた、こどもの歌、おとなの歌をみんなで楽しく、そして放送大学学歌は若干の使命感をもって歌っています。15人前後のメンバーで男女混声のハーモニーを楽しんでいます。

レッスンは7階多目的室で、月4回（火曜日午前中）、うち2回は講師（優しい素敵な先生です）を招き指導を受け、2回は部員たちで自主練習をしています。会費は月1,500円 ♪初心者歓迎！いつでものぞいてください！♪

中国語会話サークル

中国語会話の基本を学ぶために、中国人女性講師による基礎的なレッスンを行っています。今のところ、10人程度の少人数ですが、中国人に少しでも通じる中国語をマスターしたいという気楽な集まりです。講師の美しい中国語に惹かれて、初心者とベテランが一緒になって、和気あいあいとやっています。レッスン前には、中国語基礎音の発音練習を行うなど、中国語が初めてという方でも気軽に参加できるように心掛けています。

いつでも、ご見学にお越しください。お待ちしております。

場 所：兵庫学習センター7階多目的室

日 時：月2回（原則 第1、第3火曜日）13:00～14:30

会 費：毎月2,500円、初回のみ入会金1,000円

テキスト：相原茂著「国民的中国語教本/ときめきの上海」（朝日出版社）

サブテキスト：塚本慶一、芳沢ひろ子共著「中国語で案内する日本」（研究社）

英語(英会話)勉強会

英語を楽しく勉強する会です。前半の一時間は講師（今は神大院生のカナダ人）との英会話、後半の一時間は学生だけの英文法復習とCNNニュースリスニング輪読を行っています。また1学期に一回程度の頻度で食事会を開催して講師を含めた交流を楽しみ会員相互の親睦を深めています。気軽に教室を覗いてみて下さい。

開催日時：月2回（第二、第四水曜日）午後2時～4時 場所：7階多目的室

会 費：2,000円/月（講師への謝礼、食事会費用）

テキスト：Japan Timesの記事などをコピー、時事・文化などテーマは多様です。文法-Forest(1,520円+税)、CNNニュースリスニング2019[春夏](1,100円)

ESSサークル

やさしい英単語を使って、日常会話を中心に勉強する英会話サークルです。皆さんが放送大学やNHKの英語番組等で覚えたフレーズを互いに教え合いながら学習を進めます。英語で会話する中で、話すコツを学びます。是非一度見学においでください。

例会は、毎月1回（第1日曜日、午後1:30～4:00）練習場所は、「コミスタこうべ」（阪神春日野道駅より徒歩5分）です。

ゴルフ同好会

放送大学にご入学の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんゴルフをしましょう。私たちは放送大学で勉学に励むかたわら神戸、三木市近郊のゴルフ場で年6回コンペを開催し、ゴルフを楽しんでいます。老若男女併せて15名の会員で、暑い時も、寒い時も、ゴルフに最適な季節もコンペを開催し、交流を深めています。経験者はもちろん初心者の方も大歓迎です。友人と一緒に参加もOKです。春、夏、秋など、季節を感じながら自然の中で爽やかな汗をかく！いかがでしょう？楽しいですよ。学習の合間に仲間とともにゴルフをやりませんか。ご連絡をお待ちしています。

経済と金融を学ぶ会

テキストとして1950年から版を重ねている「日本経済読本」の最新版（第20版2016年3月3日発行）を使用して学習しています。メンバーで輪読し、テーマごとの最新資料なども紹介しながら自由な討論、意見交換を行っています。理論の勉強というよりは経済や金融、財政、政治などから見た国家／地方、社会／組織、職場、教育現場、家庭／個人などの現状理解、国際比較、課題検討などを行っています。放送大学ならではの、広い年代層のメンバーと意見交換ができます。是非参加してみてください。会費は6か月500円

ICTサークル(PCQAサークル)

日常使用しているパソコン、モバイル機器、ゲーム機等の疑問について、参加者がお互いに情報交換を行える場を設けています。1回/月で活動しています。ご自由に参加ください。

「健康と病気」清談・漫談

谷口洋先生（神戸大学医学部名誉教授、放送大学元客員教授、現役内科医師）の健康と病気についての講義をきかせていただきながらの学習会です。2か月に一度水曜日の開催予定です。一度のみ、興味のあるテーマのみの参加も可能です。皆様お気軽にご参加ください。テーマ、日程など詳細につきましては、ホワイエにポスターを掲示しておりますのでご参考になさってください。

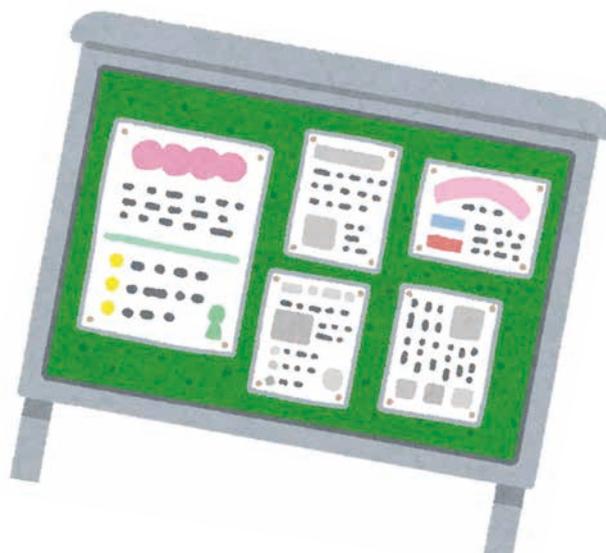
地質と環境を語る会

2014年4月に発足しました。地質学御専門の田結庄先生とともに、地質、環境、トピックス、災害などのテーマについて語り合い、また1年に2回ほど近郊の地層見学や関連する施設の見学も予定しています。

武田義明先生と里山を歩こう会

皆さん、ご存じですか？雄蕊の一部を変化させて美しい花びらを創った花々、できるだけ多くの種を持つためにフィボナッチ数列で並んでいるひまわり、ネナシカズラの戦略的寄生。私たちの生活は植物によって支えられています。かけがえのない植物に一層の興味を持ち、知識を深めるために第1金曜に近郊の里山を巡りながら武田神戸大学名誉教授に植物の名前・生態を教えて頂いています。一緒に植物の素晴らしい世界を見に行きませんか！

今年度より、「武田義明先生と里山を歩こう会」が発足されました。





単位認定試験について

2020年度第1学期単位認定試験の実施期間等について

先日よりご案内しておりましたとおり、2020年度第1学期単位認定試験につきましては、新型コロナウイルス感染症をめぐる国内状況に鑑み、代替措置を講じて実施いたします。

＜2020年度第1学期単位認定試験期間＞ **2020年7月14日（火）～2020年7月21日（火）**

＜答案提出期限＞ **7月21日（火）消印有効**

試験問題について

試験問題は、本学ホームページからリンクされたウェブページ※（要パスワード）にて、PDFファイル形式で公開いたします。

試験問題は全科目分を一覧にして上記期間中に公開いたしますので、期間中であれば何度でも問題を確認いただくことが可能となる予定です。

各自、期間中に答案を作成いただき、返送用封筒にて大学本部へ郵便で提出してください。

※当初、試験問題はシステム WAKABA への掲載を予定しておりましたが、予定を変更して専用のウェブページにて試験問題を公開することとなりました。ID・パスワードについては、答案用紙、返送用封筒等一式の発送時にお知らせいたします。

なお、ウェブページの閲覧以外の代替方法については、答案用紙、返送用封筒等一式の発送時に案内を同封します。

単位認定試験に係るお問い合わせ先
放送大学学生課単位認定試験係
043-276-5111（代表）

学内システムについて

放送大学では学生の学修をサポートするため、インターネットを使用した各種情報システムを提供しています。システムにログインするためのログインID及びパスワードは同じとなっております。

○ログインID : 学生番号（ハイフンを除く10桁の番号）

○初期パスワード : 西暦生年月日（8桁）

・システム WAKABA

①教務情報機能 ②キャンパスライフ機能 ③授業サポート機能

・学生メール

学生メールの送受信

・学習センター学生用パソコン

インターネット利用

・学習センターおよびサテライトスペースにおける Wi-Fi 利用



○システム WAKABA のログイン方法等について

①放送大学 HP にアクセスし「在学生の方へ」から「システム WAKABA (教務情報システム)」をクリックして下さい



②放送大学認証システムにて ID・パスワードを入力し、ログインボタンを押して下さい
本学の情報システムのご利用が初めての方は入学許可書に記載の方法にてログインして下さい



③システム WAKABA へログインした画面

キャンパスライフ

- 学内連絡
- 各種届出・申請
- 学内 FAQ
- セミナーハウス予約

お知らせ

2019/05/08 14:47

色・プロフィール設定

パスワード変更

Gmail new

キャンパスライフ | 授業サポート | 教務情報

●学内連絡
●スケジュール

●学内関連
●学内案内
●学生生活
●各種届出・申請様式
●附属施設・情報システム
●学内FAQ
●学内リンク

教務情報

- 学生カルテ (学籍情報・履修情報・単位修得状況情報確認)
- 変更・異動手続
- 履修成績照会
- 科目登録申請 (次学期の科目登録申請や登録済科目の確認)
- 継続入学申請

学内リンク

- Web 通信指導
- オンライン授業
- 放送授業ネット配信
- 単位認定試験問題・解答閲覧
- 面接授業日程・概要確認
- 新規開設科目印刷教材 (試し読み)

事務室からのお知らせ



学生証について

学生証は所属する学習センター及びサテライトスペースで直接お渡しすることになります。事前に写真登録が必要になりますので、写真票を本部に提出していただくか、ご自分でシステム WAKABA に登録していただいた上で、センター事務室で交付を受けてください。(出願の際に写真票を送付またはインターネット(システム WAKABA)で写真を登録された方は、写真登録はすでに行われていますので不要です。)

学生証はセンターの利用や単位認定試験の際に必要ですので、手続きがまだの方は速やかに行ってください。



保険について

学生教育研究災害傷害保険は学生が被る教育研究活動中の不慮の災害事故に対する被害救済を目的とする任意加入の保険です。兵庫・姫路の事務室で随時申込を受け付けています。(学籍が継続していれば最長6年有効)

契約開始は加入の翌日午前0時からとなります。面接授業等で加入が必要な場合は、事前に手続きをしてください。なお、加入日にかかわらず、4月入学者は保険始期が4月1日に、10月入学者は保険始期が10月1日になりますので加入期間を考えた上での加入をお勧めします。



学割証について

放送大学では学部全科生と修士全科生、博士全科生が自宅から学習センター(*1)または大学本部等(*2)に通学する場合に使用できる「学割証」を発行しています。学割証を発行できない鉄道会社もありますので詳細は事務室までお問い合わせください。

(*1): 回数乗車券の2割引

(*2): 普通乗車券の2割引



利用の手引きについて

「利用の手引き」には学習センターの利用方法や今後の予定を掲載しています。必要な方は各自兵庫学習センター・姫路サテライトスペース事務室に取りに来て下さい。



住所変更について

「現住所」、「連絡先の電話番号」等に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』(「学生生活の葉」巻末)を学部生は所属学習センター、大学院生は大学本部へ提出(学部生、大学院生ともにシステム WAKABA でも届出できます。)するとともに、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。



単位認定試験受験センター 変更願いについて

単位認定試験は、原則として所属学習センター及び所属サテライトスペースにおいて受験することになります。転勤・転居等やむを得ない事情及び通勤・通学等地理的な関係等のため、所属学習センター以外での受験が便利な場合は、受験センター変更手続きをしてください。詳しくは、『学生生活の葉』をご覧ください。
※提出期間にご注意ください。

ご不明な点等ございましたら、お気軽に学習センター・サテライトスペース事務室へお問い合わせください。



事務室からのお知らせ



2020年4月より、兵庫学習センター視聴学習図書室の利用時間を変更しました。

	期間	曜日	学習センター、サテライトスペースの開所時間	視聴学習・図書室の利用時間
兵庫学習センター	通常期間 (単位認定試験期間を除く)	火～日	9:30～18:00 (窓口受付業務は17:30まで) (休憩12:00～13:00除く)	(火～木) 13:00～17:30 (金～日) 9:30～17:30
	単位認定試験期間		9:00～19:00	9:00～18:30
姫路サテライトスペース	通常期間 (単位認定試験期間を除く)	火～日	9:30～18:00 (窓口受付業務は17:30まで) (休憩12:00～13:00除く)	9:30～17:45
	単位認定試験期間		9:00～19:00	9:00～18:00

この度の「緊急事態宣言」の解除による放送大学学園本部の対応（追報3）を受け、兵庫学習センター・姫路サテライトスペースでは、感染防止の対策を講じながら以下のように利用制限を緩和いたします。学生諸氏におかれましても感染予防へのご協力をお願いいたします。

☆ 兵庫学習センターおよび姫路サテライトスペースは6月27日（土）より、入館禁止措置を解除し、業務を一部再開いたします。（ただし、月曜は従来通り閉館）

状況によっては、開所日時を変更する可能性もあります。

① 事務室窓口の受付時間：10:30～12:00 / 13:00～15:30

● 感染拡大防止のため、できる限り 電話及び郵便 をご利用ください。

② 視聴学習・図書室の利用時間：11:30～15:30（姫路は10:30～15:30）

※ 他学習センターに所属する学生の入館について、当面の間、引き続き禁止します。

※ 来所する際は、事前の検温、マスクの着用、入所時の手指の消毒の励行をお願いします。

（発熱等、体調不良の場合は、来所をご遠慮ください）

※ いわゆる「三密」を避けるためソーシャルディスタンスの維持に注意してください。

※ ホワイエ、実習室、講義室、多目的室の利用は禁止しますので、これらを利用する課外活動等は引き続き自粛してください。

● また、神戸大学構内は立ち入り禁止ですので、神戸大学附属図書館の利用はできません。

今後の対応についても、基本的にホームページ上でお知らせします。

感染症対策へのご協力をおねがいします

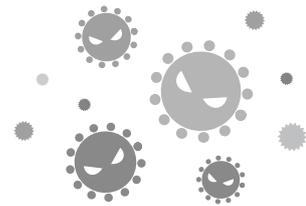
咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出る時は、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやるう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う

2 ゴムひもを
耳にかける

3 隙間がないよう
鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索

